

令和5年度 教育活動報告書(10月版)



長野県上田千曲高等学校

全日制 メカニカル工学科 電気科 建築科 商業科 生活福祉科 食物栄養科

定時制 機械科

令和5年10月報告用

上田市 SDGs スタートアップシンポジウム
2月18日(土) 【SDGs 同好会】



企業探究コース 「コーポレートアクセス」部門
全国大会出場 2月18日(土) 【商業科】



信金出前授業「インプット&アウトプットで学ぶビジネスマナー」受講 2月13日(月) 【商業科】



地域貢献活動として「千曲川クリーン活動」
3月4日(土) 【SDGs 同好会】



令和4年度 卒業証書授与式
令和5年3月3日



令和5年度 新任式・1学期始業式
4月5日(水)



令和5年度入学式 4月6日(木)

令和5年度入学式
4月6日(木)



新入生歓迎会・クラブ紹介
4月10日(月)



令和4年度 全国福祉高等学校長会 北信越地区
生徒体験作文発表 表彰式【生活福祉科】4月19日(水)



食物栄養科3年 校外研修「テーブルマナー」
4月27日(木)



生徒総会 5月11日(月)
本年度予算案など4つの議案が承認されました



県大会壮行会
5月24日(水)



食物栄養科3年 特別授業①「発酵って何だろう？」
5月2日(火)



5月19日(金) 技能競技会表彰式
機械検査3級部門 長野県3位 竹重君(メカ2)



PTA総会 5月27日(土)
一堂に会しての総会は4年振り



東信高等学校体育大会
男子バレーボール 優勝



北信越高等学校体育大会卓球競技 (女子ダブルス)
中村彩歌さん (食3)・宮澤結衣さん (食3)



北信越高等学校体育大会ソフトテニス競技
優勝 (3回目)

北海道インターハイ ソフトテニス競技
団体出場 (13回目)



第64回千曲祭
7月7日 (金) ~ 7月9日 (日)



体験入学

7月27日(木)



第6回北信越地区高校生介護技術コンテスト

表彰式 8月25日(金)【最優秀賞】【優秀賞】



防災訓練

9月7日(木)



生徒会役員選挙

9月21日(木)



秋季クラスマッチ

10月17日(火)



体育祭

10月19日(木)



<メディア>

上田千曲高生 市内に作品展示 制作没頭 願い込めたこいのぼり
 信濃毎日新聞2023年(令和5年)5月9日(火)

制作没頭 願い込めたこいのぼり



イオンスタイル上田に展示された鯉タングル

約120人がそれぞれ授業で取り組んだ。簡単な模様を繰り返し描いて画面を埋めていく「ゼンタングル」の手法で制作。「ゼン」は仏教の「禅」から取っており、作業に没頭することで心を落ち着かせる効果もあるという。手法の名をもじり、作品名は「鯉タングル」とした。

生徒たちは、長さ約20センチの小さなこいのぼりに線を描いたり塗りつぶしたりして模様を描いた。一人一人の作品を、プラスチック板で作った大きなこいのぼりのうろこに見立てて配置している。

水沼穂乃華さん(15)は「細かく描き込むことだけを考え、それ以外は無意識に描いた」とし「きれいに仕上がった」と出来栄えに満足そうだった。美術科の臼井亮教諭(53)は「元気のこいのぼりの姿を見て、社会生活を明るく送ってもらいたい」と話している。

上田千曲高校(上田市)でされている。新型コロナウイルス感染症を予防する1年生によるこいのぼりをモチーフにした作品が、上田市のイオンスタイル上田と市観光会館に展示飾る。

上田千曲高生 福祉の学び実践 レンタル高校生 高齢者お助け
 信濃毎日新聞2023年(令和5年)5月11日(木)

レンタル高校生 高齢者お助け



出雲さん(右)の畑で新しい柵を作る上田千曲高校の生徒たち

上田千曲高生 福祉の学び実践

上田市の上田千曲高校生活福祉科の3年生13人が10日、学校付近に住む高齢者の困り事や要望に応える初の「レンタル高校生プロジェクト」に取り組んだ。福祉に関する学びを深める「課題研究」の授業の一環、地域の高齢者が抱える課題をつかみ、高校生の視点から解決策を考えて実践することを目指している。

生徒たちはグループに分かれ、地域の民生委員や城下地域包括支援センターに紹介された1人暮らしなどの高齢者宅を訪ねた。

同市中之条の出雲祐成さん(97)宅を訪ねた4人は、出雲さんの要請を受け、近くの畑で古くなった柵を作り直した。最初は緊張していたものの、出雲さんから道具の使い方を教わったり、生徒同士で相談したりしながら1時間ほどで仕上げた。出雲さんは「柵がきれいになった。来てくれて良かった」と喜んでくれた。

作業療法士を目指しているという竹花明姫さん(17)は「作業療法士の業務は訪問活動が多い。実践的な学びができた」と話していた。

生徒たちは1年間かけて課題研究に取り組み、各グループは今回の訪問先などで学んだことを基に地域の課題を探っていく。



信州P・TECHのスタートアップ講話 上田千曲高メカニカル工学科40人参加

上田市

上田千曲高校メカニカル工学科1年生40人を対象にこのほど、信州P・TECH(ピーテック)のスタートアップ講話が上田市下之郷の県工科短

期大学校で行われた。信州P・TECHは、IBMが米国で始めた5年間の教育モデル。県内で初めて昨年9月、千曲高校と工科短大を実施校と

してスタートした。産業界が必要とする、ものづくりの情報技術を有した人材を高める。短大での過程に加え、地域の企業が関わって育てる。講師の日本アイ・ピーエム(株)名誉技術理事・佐貫俊幸さんは「P・TECHの取組と先端技術がもたらす未来」をテーマに、コンピュータを含むIT、AI技術の進化の様子を様々な例を挙げながら説明。米アラン・ケイ博士の言葉「未来を予測する最善の方法は、それを発明することだ」を引用し、「ぜひとも未来を自分たちの手で作ってほしい」と伝える。そして大切なこととして「なぜ？」を楽しむ(課題を見つける力になる)、「学び続ける」(失敗からも多くの学びがある)、「人とのつながり」(さらに大きな力になる)の3つを挙げ、「人とのつながりを信じ、学校をP・TECHを楽しんでください」と結んだ。

講和をする佐貫さん
育てる。
講師の日
本アイ・ピ
イーエム(株)名
誉技術理事
事・佐貫俊
幸さんは「P

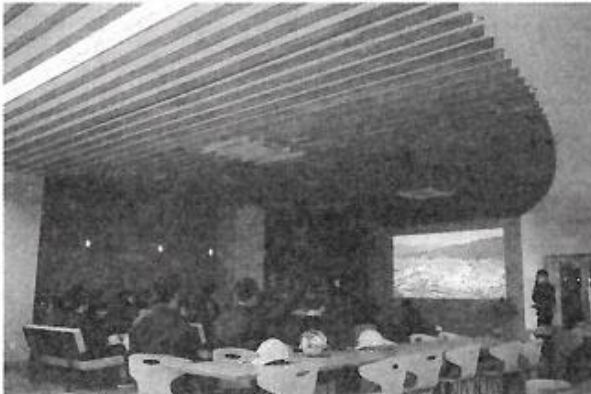
ザック(株)上高井郡高山村)、上田プラスチック(株)(上田市)、(株)ズー(同)、日置電機(株)(同)、(株)綿谷製作所(同)の5社が企業紹介。演壇の大きなスクリーンを使い、わかりやすく自社の扱い品目や利点など紹介した。

母の日「黒糖くるみプレゼント」 道の駅・雷電くるみの里

東御市

東御市滋野乙「道の駅・雷電くるみの里」は14日(日)、母の日イベントを行う。日ごろの感謝を込め、雷電くるみの

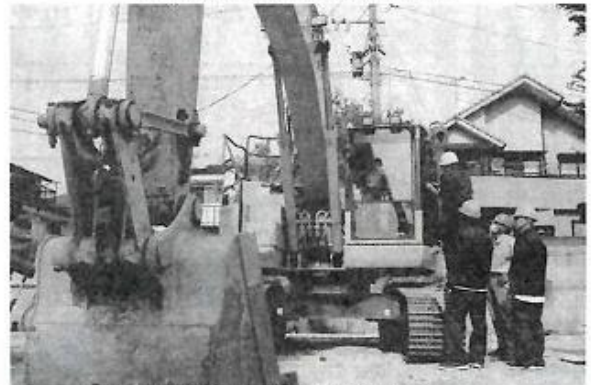
里で買い物したお母さんへ、「黒糖くるみ」をプレゼントする。売店では午前10時〜100袋、食堂では12時〜50袋の計150袋を用意(なくなり次第終了)。問い合わせは雷電くるみの里 ☎63-10963へ。



シナノケンシの本社新棟内の見学



工事中の現場を見学する様子



重機に乗り込む体験もした

「将来は建
目を輝かせ、
重なる体験に
できない貴重
な体験に
なると」
「なかなか
生徒らは
乗も行った
験も行った
場場の重機に
乗も行った
驚きの声も。
生徒らから
を伝えると、
建設を進め
ていること
を伝えると、
差に抑えて
わすかな誤
成後に各棟をつなぐ通路
中の工事現場を見学。完
基礎工事を行って最
再開発の概要を説明し、
技術者の創造性を発揮し
やすい研究開発棟のコン
セプトや、働き方の自由
度を広げるオフィスの考
え方、環境に配慮した設
備など新たな本社で取り
入れる内容を伝えた。
その後、建設工事を主
管する大林組担当者の案
内で、鉄骨やクレーン、
バックホー、ダンプカー
などの重機などが並び、

上田千曲高建築科3年生40人が研修 上田市のシナノケンシ工事現場見学

次世代を担う技術者の就労促進を…

県建設業協会など

上田市中之条の上田千曲高校建築科の3年生約40人は25日、本社の再開発工中のシナノケンシ（ASPINA、市内上丸子）の工事現場見学を行った。

高校生の工事現場見学は、建設産業の次世代を担う技術者の確保・育成を図るため、県建設業協会上小支部、上田建設事務所、同校が共同で実施するもの。次世代を担

う高校生らの、建設業への就職を支援するのが目的だ。学校での学びの内容を実際に見てもらおうという興味を持ってもらおう

シナノケンシの本社開発工事は2021年12月に着工しており、この日は第1期工事今年3月に完成済みの本社F棟（3階建て）内も見学。シナノケンシ担当者が再開発の概要を説明し、技術者の創造性を発揮しやすい研究開発棟のコンセプトや、働き方の自由度を広げるオフィスの考

え方、環境に配慮した設備など新たな本社で取り入れる内容を伝えた。その後、建設工事を主管する大林組担当者の案内で、鉄骨やクレーン、バックホー、ダンプカーなどの重機などが並び、基礎工事を行って最中の工事現場を見学。完成後に各棟をつなぐ通路の接続位置も、数ミリの

「設業に就きたい」と話す生徒もいた。

州民報

第三種郵便物認可

第21454号



看護師の仕事体験の様子

上田千曲高生が「ふくしニア」開催
介護福祉士・看護師などの仕事体験
「福祉に明るい未来を運び込もう」
 アリオ上田店

上田千曲高校・生活福祉科の課題研究「高齢分野」を選択する3年生12人は10日、上田市のアリオ上田店1階・星のコートで「ふくしニア」を開催した。アリオ上田店での開催は3回目となる。

ふくしニアは、県社協と同校生活福祉科による「子どもたちに、豊かで



移乗用リフトを親子で体験する

移乗用リフトを親子で体験する

「ケア」(ポイント)を得て、最後にそのケアを使って買物ができるという仕

事。それぞれのブースを設け、高校生がやさしく、たのしく、子どもたちに『おしごと』を教える。

この日は1、2年生の有志10人と同校生活福祉科に関わりのある、それぞれの専門職の人が一緒に仕事を伝え、体験をサポートした。

介護福祉士では、車の操作と杖を使った歩行介助を体験。看護師はバイタルチェック、点滴の滴下調節、傷の手当てなどを体験した。リハビリでは移乗用リフトの使用方法を学び、医療・介護施設などで行っているピーズのストラップづくりを体験。保育士は赤ちゃんの人形を使い、抱っこ・哺乳瓶での授乳・おむつ交換を行った。

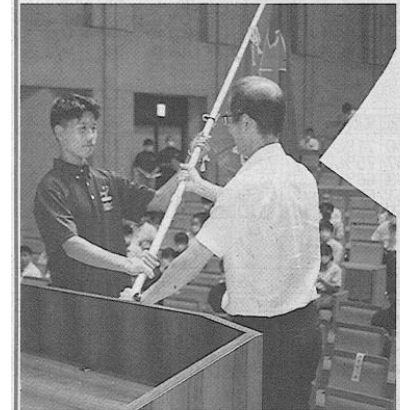
組みになっている。商品(景品)も高校生が工夫し、菓子や文具の他、手作り缶バッジを入れたカブセルトイを提供した。

高校生に教わりながら一生懸命に体験する子どもたちを、保護者は微笑みながら見守る。子どもからは「楽しかった」との声があり、保護者は「良い体験をさせていたただいた」と話す。高校生は「たくさん子どもたちが来てくれて嬉しく思う」と話し、「福祉では『人との関わり』が大事だということを感じ、学びの多いイベントになった」と目を輝かせた。

スポニチ 信州

21日開幕全国高校総体結団式

上田千曲高生が「ふくしニア」開催
 堀 侑杏のソフトテニス団体&個人で狙うベスト4



右手小指テーピング姿で意欲

21日開幕の全国高校総体(インターハイ)に出場する県選手団の結団式が11日、松本市内で開かれた。結団式の開催は4年ぶり。大会は北海道を中心に山形、栃木、和歌山の4道県で来月21日(土)から27日(金)まで行われ、千曲高生が旗手を務める。旗手は千曲高生の堀侑杏(ゆあん、上田千曲3年)は男子ソフトテニスの団体と個人にエントリー。2週間前に利き腕の右手小指を骨折し、テーピング姿が痛々しいが「チャレンジャーに」今までやってきたことを

精神で両方ベスト4を目指します」と頼もしい。団体は初、個人は昨夏に続き2度目の出場で「後衛が粘って前衛が駆け引きで点を取る、千曲のテニスができる、千曲のテニスができる、千曲のテニスができる」と意欲を示した。

また、陸上女子棒高跳びの岡田莉歩(りほ、佐久長聖3年)は「精いっぱい頑張りたい」と決意表明。3度目の出場に「今までやってきたことを



3度目の出場へ決意表明する佐久長聖・岡田

日常の風景見つめ直すと…



写真を見せながら、良いと感じたデザインを発表する生徒(中央)

上田千曲高 外部講師招き美術の授業

上田千曲高校(上田市)の1年生が、美術の授業の一環でデザインについて学ぶ講座を受けた。講師は、専門学校「岡学園トータルデザインアカデミー」(長野市)の教師の越将俊さん(46)。生徒は校舎内を歩き、良いと感じるデザインを探してタブレット端末やスマートフォンで撮影した。

メカニカル工学科の20人が受講。日常にはデザインがあふれており、生活を豊かにしてくれている—といった説明を美術室で受けた後、校内を約10分間巡

った。「このデザイン、いいね」などと話し合いながら、廊下にある火災報知機や玄関に置かれた検温器などを次々に撮影。写真を見せ合いながら、良いと感じた理由を発表した。

宮腰楓翔さん(15)は「普段見えていない所にデザインされたものがたくさんあることに気付いた」と笑顔。越さんは「デザインを見つけたり、込められた意図に気付いたりすることは、意識しないとできない。生徒に視野を広げてもらえたと思う」と話した。

校舎内「このデザイン、いいね」

高校生介護技術コンテスト北信越大会で1位となったチームが全国へ
信州民報 2023年9月28日(木)

上田千曲高・生活福祉科2年生が好成績

高校生介護技術コンテスト北信越大会で

1位となった1チームが10月全国大会へ

上田千曲高校の生活福祉科2年生2チームはこのほど、「高校生介護技術コンテスト」第6回北信越地区大会(8月10日、福井県)で好成績を収め、第1位となった1チームは第10回全国大会(10月29日、福井県)の地区代表に選出された。

同コンテストは「福祉を学ぶ高校生が介護技術を競い合うこと」でその技術を高め、様々な介護場面で適切かつ安全に支援できる能力の育成」を目的に、全国福祉高等学校

長会(加盟193校)が主催し、平成23年度から全国大会が行われている。コンテストでは、与えられた課題に対して「利用者にとってよりよい介護技術」を検討し、競技(実演)と説明(アピール)を行うもの。1チーム3人(競技者2人、アドバイザー1人)で課題検討25分・競技7分・説明2分とし、基本の介護

「移動」「排泄」「身支度」「食事」を実践する。上田千曲高は全学年を対象に校内選考を行い、



北信越大会で好成績を収めた2年生。(写真左4人が)最優秀賞チーム、(写真右4人が)優秀賞チーム

2年生・2チームを北信越大会にエントリー。3人のメンバーに補欠1人



全国大会に向けて練習する徳竹華歩さん、宮澤聖菜さん、伊藤にこさん

を加えた4人を1チームとし、練習を重ねて

さんのチームが優秀賞(第2位)に輝いた。8人は科目「生活支援技術」での学習を基礎に、放課後の時間などを利用して練習を積んだという。

大会に臨んだ。その結果、徳竹華歩さん、宮澤聖菜さん、伊藤にこさん、松井春花さんのチームが最優秀賞(第1位)に。田畑月さん、塚原朱莉さん、高橋羽月さん、永井一花

「要介護者との会話と、介護者同士の連携を大事にした」と工夫した点を挙げ、受賞について「信じられなかったが、学校

(校長先生)に報告して実感が湧いてきた。培ってきたことが成果となり、嬉しく思う」と話す。

全国大会に出場する徳竹華歩さん、宮澤聖菜さん、伊藤にこさん3人は「レベルが高いと思う。練習を積み、頑張りたい。そして全国大会を楽しみたい」と抱負を語った。

担当する浅沼智美教諭は「来年度は北信越大会の開催県・担当校となる。今の2年生が中心となって大会に関わるようになるが、今年度の経験が活かされるはず」と述べる。なお全国大会には、地区大会で優秀な成績を収めた学校(北海道1、東北1、関東1、北信越1、東海1、近畿1、中国1、四国1、九州2)と開催県代表1、前年度最優秀賞地区1の全12校が出場する。

上田千曲高校の同窓会 総合作品展に100点

上田市サントミュージゼ

上田千曲高校の同窓会（深町共榮会長）はこのほど、3日間にわたり同窓生や教職員、在校生らによる総合作品展を市内サントミュージゼ・多目的ルームで開いた。

同展は母校の“周年”を祝おうと開催される作品展で、2027年の創立110周年に向けて1



OBらの手工芸品も展示された

00周年後、1年おきに『助走展』として開催し

ている。今回は在校生から90代OBまで約50人が絵画や写真、切り絵、書など約100点を展示した。

同高OBで同展実行委員の宮下六朗さん（86）は「助走展を続け、昔から参加してきたOBが高齢化し、減ってきているが作品は充実している」とし、「教師も力いっぱい指導してくれ、生徒たちの作品数も多い。何より続いてきていることがうれしい」と話した。

上田千曲高

女子美術大・染織分野の出張授業行方

南米・アンデスの伝統柄をステンシル

上田千曲高校(上田市中之条)で科目「美術I」を選択する1年生は、9月22日と26日に女子美術大学デザイン工芸(染織分野)の出張授業を受けた。南米・アンデスの伝統柄を天然染料を用いて型染め(ステンシル)する内容だ。

美術担当の臼井亮教諭は「生徒は事前学習としてアンデス地方の文化やインカ帝国など中南米の歴史を学び、それらを基にアンデス伝統の幾何学柄と生き物を組み合わせた図案を考えた」と話す。授業では、講師の女子美術大・荒姿寿准教授が「アンデス地方の工芸品における伝統柄には、祈



生徒がアンデス柄を型染めする様子



出張授業で染め付けたデザイン。次の授業で続きに取り組むという

りとか身分とかメッセー
ジが込められている。そ
の柄を日本古来の型染め
で、布に施していく。両
方の文化に触れてほし
い」とし、「コチニールと

いう、虫から抽出した天
然色素を用いた赤系の顔
料を主に、藍を原料とす
る青系の顔料を使う」と
伝え、手順を説明した。
26日の電気科1年生の
授業では、生徒がそれぞ
れ考案した様々なデザイ
ンを持参して熱心に取り
組んだ。デザイン(下書

き)をステンシル用のシ
ートに写してカッティン
グし、綿素材のコースタ
ーに型染めする。カッタ
ーの使い方や、同じ模様
は型をずらして繰り返し
染められることを教わり、
馬の毛を束ねたという刷
毛を使っていいねいに染
めていった。

なお同校美術班は「地
域協創デザイン活動」と
し現在、地域企業などの
商品ラベルのデザインに
取り組んでいる。また9
月に上田市役所で行われ
た「世界アルツハイマー
デー」イベントでは、当
事者の思いなどを展示し
た「木」の造形物を制作
したという。

生徒は「楽しい」と言い、
コチニールの色合いには
「布を染めると予想以上
にきれい」と話し、嬉し
そうだ。荒講師は「高校生
若い人たちが工芸や手仕
事に興味を持ってもらえ
ると嬉しい」と語り、臼
井教諭は「伝統工芸を通
じて文化を学び、デザイ
ンに活かす授業。大学の
先生から染織を教わるこ
とで、美術の領域の広さ
を知ることができたと思
う」と話した。

上田千曲高3年生×福祉事業所 革製品を共同開発

障害ある人の手仕事 知って



CPF上田と共同開発した革製品を持つ松永さん(右)と山崎さん

CPF上田では利用者が革製品を作っている。商品開発はCPF上田が5月に開いたマルシェを松永さんが手伝ったのがきっかけ。生き生きとしたのがきっかけ。生き生きと

「働く楽しさ、みんな同じ」

上田市内で
きょう販売

上田千曲高校(上田市)生活福祉科の3年生2人が、上田市の福祉事業所「CPF上田」と革製品を共同開発した。14日に秋の海野町まつりが開かれる同市の海野町商店街にある「コミュニティショップ」CoReeWa(コレイワ)で販売する。生徒の一人、松永智子さん(17)は「販売、接客を通して社会全体で、どう障害がある人と関わっていくのがいいか考える機会にしたい」と話している。

など感じた」という。

「自分の気付きを多くの人と共有したい」と共同開発を思い立ち、同科で共に学ぶ山崎蓮さん(17)と6月末、CPF上田へ商品のアイデアを書いて送った。買物袋などの持ち手に巻いて手の負担を和らげるグリップと、キーホルダーの2種類だ。

9月に試作品が完成し、そのまま採用。販売に向けて利用者が制作を進めてきた。どちらにも上田の「U」と千曲の「C」を組み合わせ上田千曲高校を表した刻印をする。午前1時～午後2時に、他の革製品とともに販売する。グリップ(税込み880円)は10個ほど、キーホルダー(同550円)は20個ほど並べる。利用者と同校生徒が講師役となり、革製品に刻印を入れる有料のワークショップ(体験型講座)も随時開く。

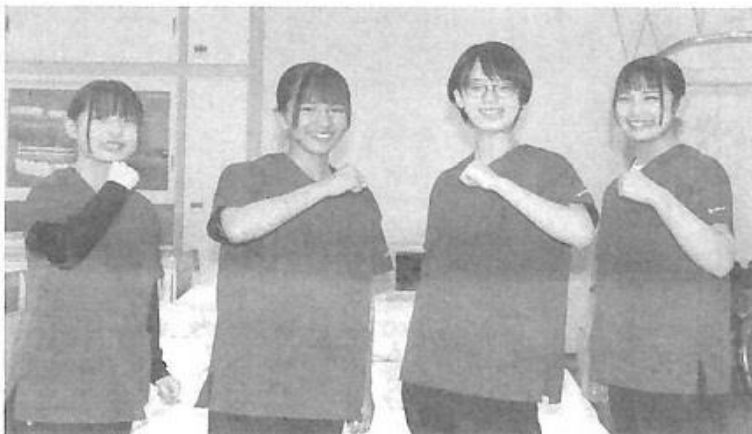
全国高校生介護技術コンテストへ 北信越地区大会で最優秀賞と優秀賞



上田千曲高

福井県でこのほど開かれた北信越地区高校生介護技術コンテストに上田千曲高校生活福祉科2年生の2チームが出場し、最優秀賞と優秀賞を受賞した。

全国大会に出場する左から伊藤、徳竹、宮澤さん



北信越地区大会で優秀賞を受賞した左から高橋、田畑、塚原、永井さん

最優秀賞の徳竹華歩さんと宮澤聖菜さん、伊藤にこさんのチームは北信越地区代表として、29日に福井県で開かれる全国大会に駒を進める。同校が同コンテストで全国大会に出場するのは初。北信越地区大会の課題は「デイサービスを利用する全吉の68歳女性

を食堂まで誘導して食事を介助するといった内容。3人は会話のきっかけを作るため、趣味や家族のことなどを話しかけて女性に楽しんでもらうことを心がけたという。徳竹さんは「全国はレベルが違うと思うが、これまでの学習の成果を生かしていい介助ができるようにしたい」。宮澤さんは「初出場のプレッシャーはあるが、当日まで練習を積んで頑張りたい」。伊藤さんは「将来は看護師を目指しており、全国を経験することは自分の力になると思う」と意気込む。

優秀賞を受賞したのは田畑月さん、塚原朱莉さん、高橋羽月さん、永井一花さんのチー

ム。4人は「女性は目が見えないという設定だが、目を合わせて話すような気持ちで、明るく声がけをした。声が震えるくらい緊張したが、勉強してきたことを発揮できて自信になった」とうなずき合った。浅沼智美教諭は「2年生は一丸となって頑張る気持ちの優しい生徒たち。全国大会では明るさや元気の良さを生かして、最大限に力を出し切ってほしい」とエールを送る。

高校生ラベル作り挑戦



上田千曲高校(上田市)3年で美術班員の勝野壮太さん(17)が、武田味噌醸造(同)の商品ラベルのデザインに取り組んでいる。デザイン系の大学への進学を目指しており、経験を積みたいと同社に話を持ちかけ、快諾を得た。同社を訪れ、経営企画部長の武田晴太郎さん(37)と4回目の打ち合わせをした。

勝野さんは同校食物栄養科で学んでいる。絵を描くのも好きで、2年生の4月に美術班に入った。食に関する職業を目指すか、デザインの道に進むか悩んでいたが、班活動や、生徒会活動でのポスター制作が楽しかったことなどからデザインの道を選んだ。

身近にデザインできるものを探していたところ、1年の時にみそ造り体験ラベルのデザインについて打ち合わせをする勝野さん(左)と武田さん(右)

上田千曲高美術班員・勝野さん×武田味噌醸造

デザイン系進学希望「経験積みたい」

の授業で講師に来ていた同社が頭に浮かんだ。教員を通じて連絡を取り、7月下旬に初訪問。現在は武田さんが作ったラベルを貼り、直売所とオンラインで販売している商品「玄米味噌」の新しいラベルデザインを考えることになった。

県産の玄米と大豆を使っているのが特徴という。玄米はおいしくないイメージがあるが、おいしいみそだと伝えてほしいなどと、武田さんから話を聞き、デザインに取りかかった。

他の商品と並んだ時の見栄えやコストについてもアドバイスをもらいながら試行錯誤を重ね、方向性が決定。米粒に筆文字風の「玄米」の文字を入れ、同社のロゴマークや稲のイラストもあしらった。細かな手直しを加え、11月中に完成させる予定だ。

勝野さんのラベルを使った商品は、オンラインや小売店など直売所以外で販売する予定。「若い人の力を借りることで、若い世代にも商品を認知してもらいたい」と武田さん。勝野さんは「人の目を引く魅力的なものにしたい」と意気込んでいる。

令和5年度定時制活動報告

1学期の活動

7名の新入生を迎え総勢27名（男子25名、女子2名）で令和5年度を迎えました。

1年担任は三浦和敏先生（工業科）、副担任は槇原健太先生（保健体育科）です。



新入生歓迎会（4月10日）

東信定通体育大会（5月20日）



宮下振興会長を来賓にお迎えし、歓迎会を実施しました



岩本さん（2年）が女子個人戦3位に入賞



卓球は堀内君（4年）が2位、深井君（3年）が3位、長坂君（3年）が4位、平林さん（3年）が2位に入賞

人権学習（6月1日）

交通安全教室（6月6日）



「ネットの性暴力から大切な心と体を守ろう」

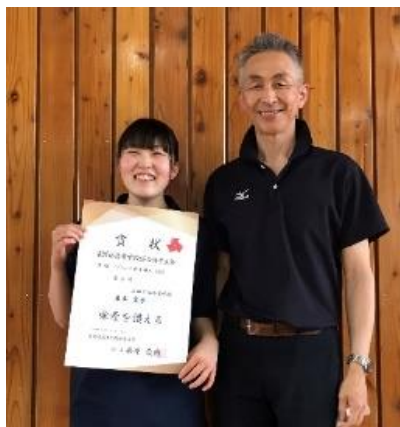


自転車・自動二輪・四輪自動車の安全について

県定通体育大会（6月10日）

バトミントン

岩本さんが4位入賞



卓球

平林さん4位、小宮山君（1年）8位



全国大会・北信越大会出場を決めました。

（小宮山君は北信越大会のみ出場）

全国大会出場

バトミントン 岩本さん（2年）

卓球 平林さん（3年）

剣道 今村君（1年）

の3名の生徒が定通総合体育大会 全国大会に出場を決めました

五者懇談会（6月21日）



コロナで中止となっていた五者懇談会を
本年度は実施しました。



昨年度卒業生 平林君（卒業生の話）

クラスマッチ（6月23日）



ビーチバレーボールを実施

千曲祭展示発表（7月7日）



終業式（7月21日）



皆勤者を宮下振興会長より表彰

2学期の活動

技能検定普通旋盤（7月23日）



定通総合体育大会 剣道（8月7日）
日本武道館



卓球（8月8日）
駒沢総合体育館



校内生活体験発表会（9月7日）



代表に選ばれた鈴木君



2位鈴木君 1位堀内君
の2名が東信大会の発表者に決まる
堀内君は2年連続代表者（昨年は東信代表）

千曲産業展（9月8日）



企業5社を招き会社説明会を実施。

東信生活体験発表会(9月15日)



残念ながら本年度は東信代表には選ばれませんでした。

校外学習（10月3日）赤田工業株式会社



コロナで中止となっていた校外学習を実施



午後は松本市内散策

保健講話（10月12日）



薬物乱用防止教室を実施。

定通体育大会北信越大会（10月22日）



卓球 平林さんがベスト16に入りました。